

研究機関：広島大学

研究課題名	新規肝線維化マーカー・オートタキシン (ATX) の臨床的有用性についての検討
研究責任者名	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰
研究期間	2018年9月3日(倫理委員会承認後)～ 2020年3月31日
対象者	1990年4月から2018年7月までに、広島大学病院 消化器・代謝内科を受診され、疫-726「肝疾患の研究のためのデータベース登録」に同意を得た患者
意義・目的	慢性肝疾患では、肝臓の線維化が起こり肝硬変、肝細胞癌へと進行するため肝臓の線維化の程度がどれくらいか調べることは、病状を把握し治療方針を決める上でとても重要です。現在、肝臓の組織を採取（肝生検検査）することで肝臓の線維化の程度を調べますが、侵襲のある検査です。新規の肝線維化マーカーであるオートタキシン (ATX) は少量の血液検査で調べることができ、臨床的有効性が期待されます。
方法	疫-726「肝疾患の研究のためのデータベース登録」に同意を得た患者血清を10 μ L用い、ATXの測定を行います。また、診療録（カルテ）より年齢、性別、身長、体重、血液検査（白血球、Hb、血小板、アルブミン、AST、ALT、 γ -GTP、T-Bil、D-Bil、ALP、総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、尿酸値、eGFR、BUN、クレアチニン、ヒアルロン酸、M2BPGi、HBsAg、HBcrAg、HBV-DNA量、HCV抗体、HCV-RNA量、PT活性、AFP、PIVKA-2、ウイルス genotype）、肝生検結果、既往歴、生活歴、現病歴、治療歴、予後を転記します。 個人が特定出来る情報は解析に用いません。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5191 広島大学病院 消化器・代謝内科 診療講師 藤野 初江